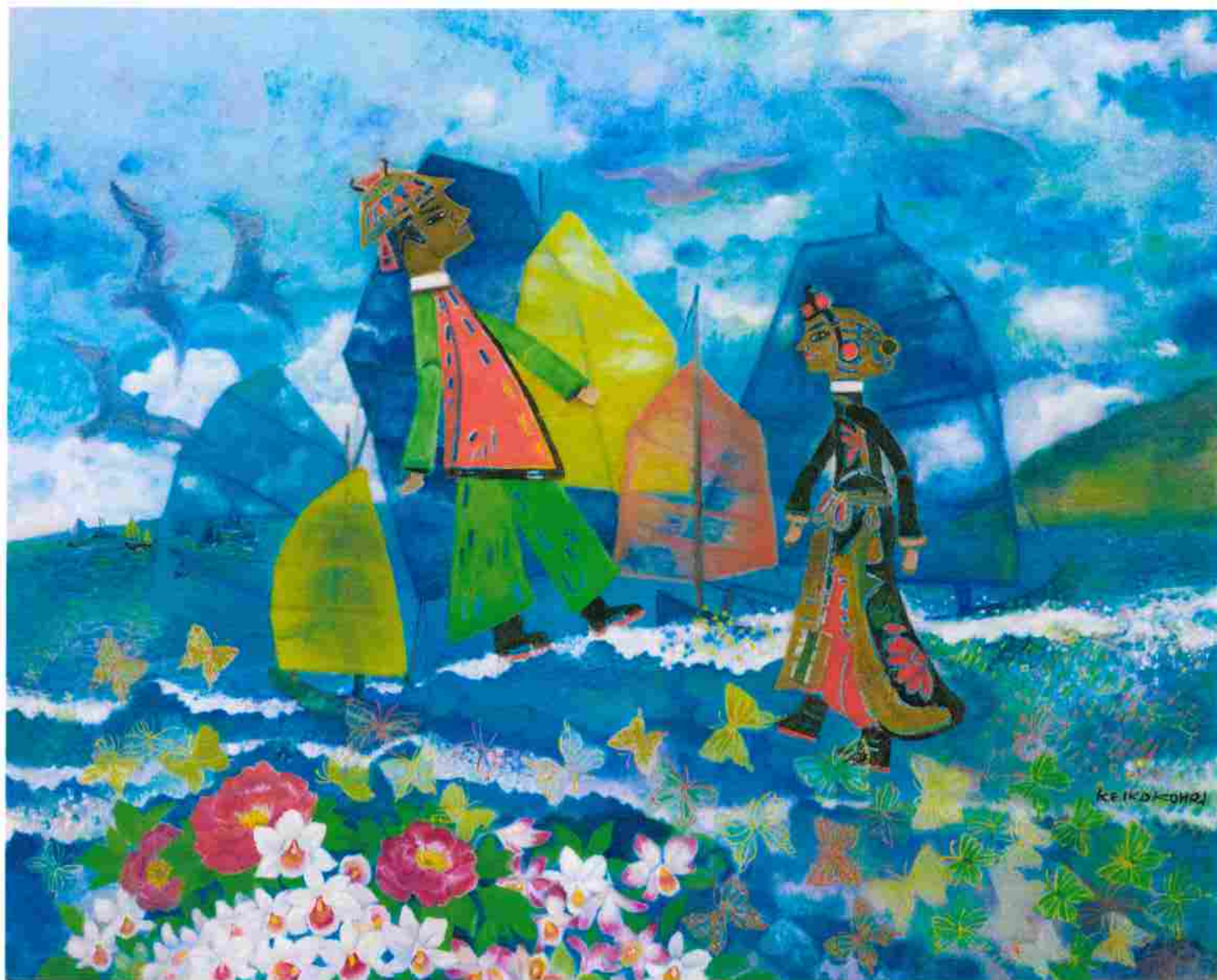




郡 慧子《「香港」追憶シリーズ》制作年不詳

異文化へのまなざし

Magome Art Gallery Highlight Collection of Ota City
A perspective on other culture

2026.

9.19_土 - 11.29_日

大田区立馬込アートギャラリー

〒143-0025 東京都大田区南馬込4丁目10番4号
TEL 03-6410-7960

【ご案内】

開館時間 9:00-16:30(16:00 最終入場)

休館日 毎週月曜日(9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝))
は開館、9月24日(木)、10月13日(火)、11月24日(火)を休館とする)

入館料 無料

アクセス ▶JR 京浜東北線 大森駅西口から
東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車、「万福寺前」下車
徒歩5分
▶都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から
馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩10分
▶駐輪場有り(5台)

【INFORMATION】

◆Opening Hours 9:00-16:30(Entrance Closed at 16:00)

◆Closed Mondays(If Monday is a national holiday,
the following day will be closed)

◆Admission Free

◆Location 4-10-4 Minamimagome, Ota-ku, Tokyo 143-0025

◆Contact TEL 03-6410-7960 FAX 03-6410-796

【Access】

- From JR Keihin-Tohoku Line JR, Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebara-machi Sta. Entrance, get off at at Manpukuji-mae.(5minutes on foot)
- Bicycle parking lot:5 spaces

2026.

9.19_土 - 11.29_日



安西 啓明《マイ・フレンド》1953年



小山 洋《白い教会(スペイン)》制作年不詳

【ギャラリートーク】

担当学芸員による展示解説を行います。

日程：2026年9月20日(日)・10月25日(日)・11月22日(日)

いずれも14:15から 約40分

アクセス ▶ JR 京浜東北線 大森駅西口から

東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車、「万福寺前」下車
徒歩5分

▶ 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から

馬込桜並木通り(桜のブロード)に沿って徒歩10分

▶ 駐輪場有り (5台)

大田区立馬込アートギャラリー

〒107-8554 東京都大田区馬込馬込1-1-1 大田区立馬込アートギャラリー
TEL:03-3760-1111 FAX:03-3760-1112

Museum Art Gallery (Highlight Collection of Old City)
A perspective on other culture

異文化へのまなざし

本展では、大田区の収蔵作品の中から、旅先の風景や異文化への憧れが描かれた絵画を紹介します。それぞれの作品に描かれた風景や人物、建築、風俗など、一つひとつのモチーフを丁寧に読み解きながら、画家たちがみつめた世界や描かれた時代を探ります。

大田区の所蔵作品の多くは20世紀に制作されたものです。この時代は、鉄道や汽船、航空機などの交通手段の発達に加え、写真、雑誌、映画やテレビといったメディアの普及によって、人々の世界認識が大きく変化した時代でもありました。遠い異国は、かつてのような想像の世界ではなく、実際に訪れ、あるいは視覚的に体験できる存在へと変化した。人々の「距離」の感覚は、大きく縮まってきました。

画家たちもまた、旅を通して実際に異文化と出会い、あるいはさまざまな情報やイメージに触れながら、新たな表現を模索しました。本展では、それぞれの作品に込められた旅の記憶や異文化への憧れ、その時ならではのまなざしに着目し、20世紀という時代の変化とともに作品を読み解きます。

本展を開催することで、来館者が作品を通して時代を超えた人々の好奇心や想像力に触れ、今日における異文化とのかかわりについて思いを巡らせる機会となりましたら幸いです。出品作品として、日本画の大家である安田靉彦に師事し、日本美術院の画家として活躍した内藤和子(ないとうともこ1929-2009)《砂の譜》や川端龍子に師事した安西啓明(あんざい けいめい1905-1999)の《マイ・フレンド》、郡慧子《「香港」追憶シリーズ》等を予定しています。



内藤 和子《砂の譜》制作年不詳

【関連企画】

11月29日(日)まで

「熊谷恒子の世界 第Ⅱ期『土佐日記』」

かな書家・熊谷恒子の愛用品や「土佐日記」の書を表示。

